

2022年10月11日に地元（吉田町北区）、吉田町、牧之原警察署、
及び島田土木事務所の関係者により実施した神戸地下道協議会にて、
地下道を廃止する方針としました。
検討経過については、以下ページの当協議会資料をご参照下さい。

R4.10.11

神戸地下道協議会

～協議会次第～

- ・概要、経緯
- ・検討及び整備内容
- ・今後のスケジュール

※写真…神戸南交差点から町道北側をのぞむ



○協議会目的
神戸地下道の撤去・存続の基本方針について
地元・関係機関と協議する。

○協議会構成メンバー

①道路管理者（発案者）
・静岡県・・・島田土木事務所

②地元
・地元自治会、町内会等・・・吉田町北区

③関係機関
・公安委員会（交通管理者）・・・牧之原警察署
・教育委員会（学校関係者）・・・吉田町学校教育課等
・市町等・・・吉田町建設課等

経緯

令和2年度

- ・地下道内のコンクリートが剥離しており、自転車・歩行者の通行が危険であるため、通行止めを実施。



写真 神戸地下道内コンクリート剥落状況



写真 神戸地下道通行止め状況 静岡一御前崎側



写真 神戸地下道通行止め状況 御前崎一静岡側

令和3年度

- ・神戸地下道を廃止する場合の工事施工方法の検討及び自転車・歩行者の代替ルートを選定

令和4年度

- ・吉田町等の関係機関と協議調整を実施

今までの経緯、検討結果をもとに神戸地下道の撤去・存続の基本方針について合意形成を行う。

協議会検討内容

- ①地下道の課題・取り巻く状況変化
- ②地下道に替わる自転車・歩行者の動線の確保
- ③方針（案）
- ④今後のスケジュール

①地下道の課題（内部の劣化）

- ・コンクリート剥落が発生した箇所以外においても、地下道内部の劣化が進行している状況にあり、地下道全体での大規模修繕が不可避である。



①地下道の課題（設備）

- ・照明灯や排水ポンプ電気代等の経常的な維持管理費用に加え、長期使用により経年劣化が進み設備更新が必要になる。



①取り巻く状況の変化（防犯）



現状

○神戸地下道内は少し暗い。

○歩行者階段から降りてきた際に、壁が死角となって神戸地下道内が把握しづらい。



問題点

○神戸地下道内の防犯対応が行き届かない。

①取り巻く状況の変化（バリアフリー）



現状

○スロープの傾斜が10%程度

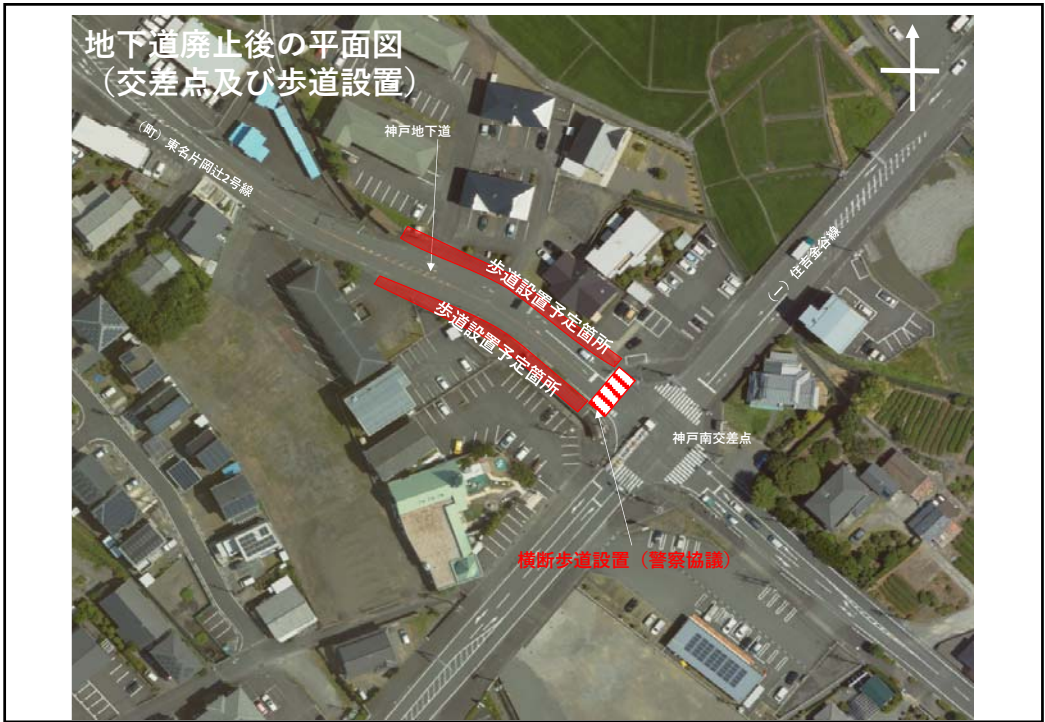


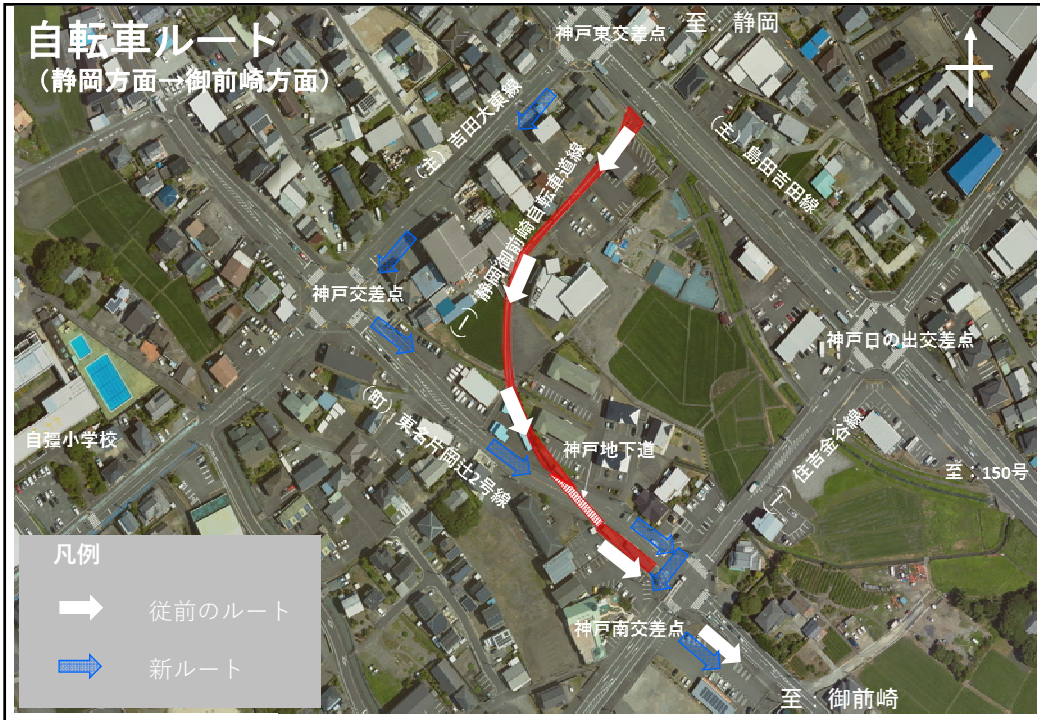
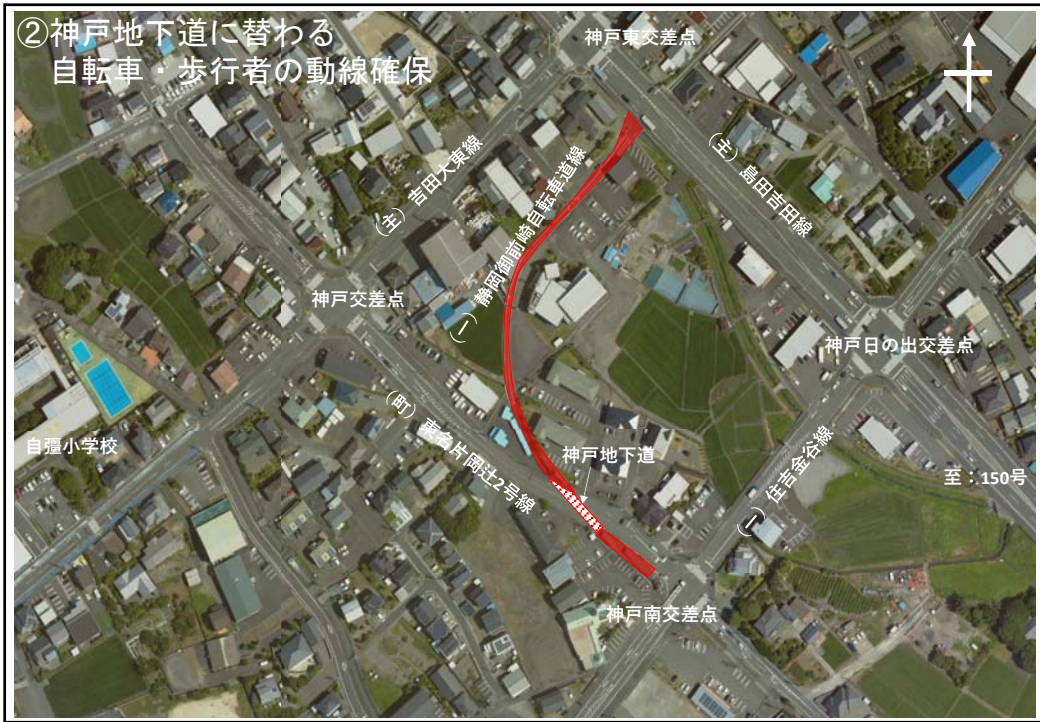
問題点

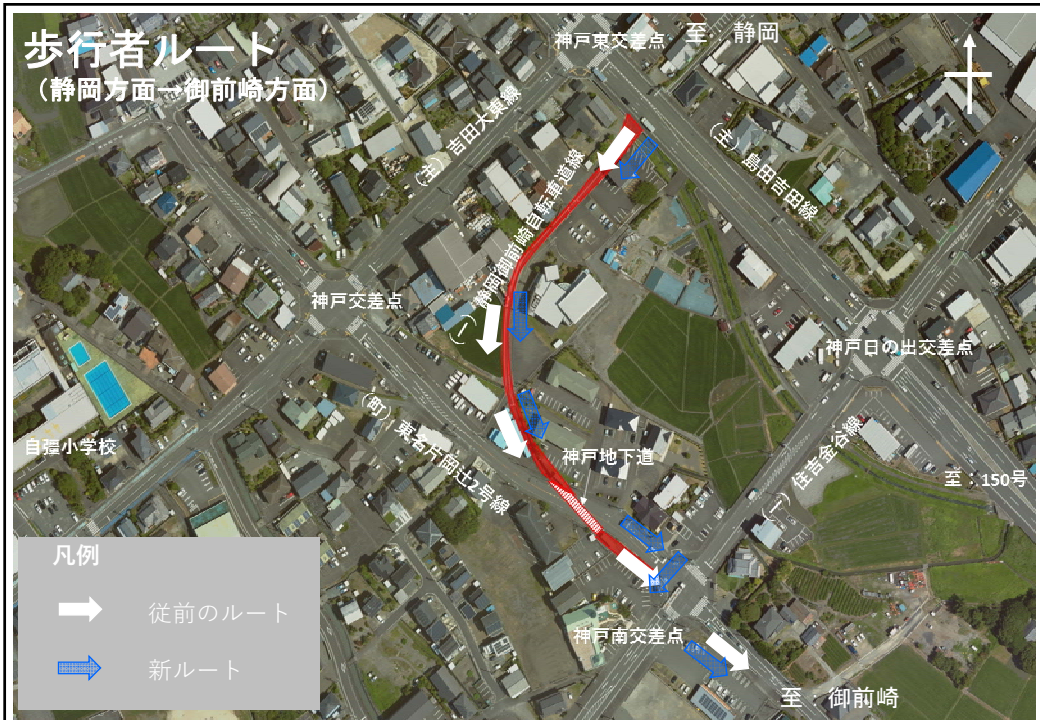
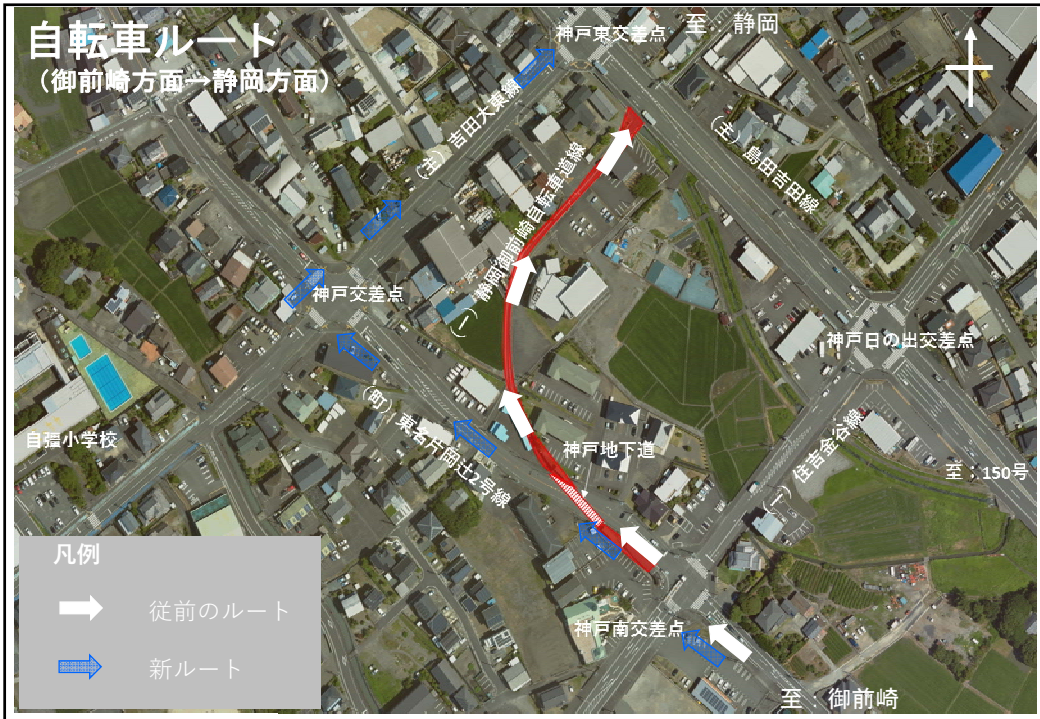
○車いす利用者に配慮し現在のバリアフリー化の基準は、スロープ勾配を5%以下としている。

※やむを得ない場合は8%以下

○現行の基準に合わない。 基準5%<現状10%









④今後のスケジュール

全体スケジュール

R2年度コンクリート剥落を契機に調査、設計などを進めている。
 なお、現在神戸地下道は全面通行止としている。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
神戸地下道 通行止	★			
概略設計		■		
詳細設計			■	
神戸地下道廃止工事				■
神戸南交差点改良設計			■	
神戸南交差点及び 歩道設置工事				■

今年度（R4年度）スケジュール

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
①詳細設計	①	■	■	■	■	■	■					
②交差点改良設計										②	■	■
地下道廃止工事 (流動化処理土による閉塞)											■	■

今回協議会にて神戸地下道廃止の合意形成

※なお9月23日～24日に発生した台風15号により被災した箇所の災害復旧工事の対応を優先する必要があることから、地下道廃止工事は、着手時期を調整する場合があります。